

第 30 回 観光戦略実行推進会議 議事要旨

1. 日時：平成 31 年 4 月 17 日（水）8：15－8：45

2. 場所：首相官邸 4 階大会議室

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、片山地方創生担当大臣、原田環境大臣、鈴木総務副大臣、西村内閣官房副長官（衆）、野上内閣官房副長官

（参）、杉田内閣官房副長官（事務）、和泉内閣総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補（内政担当）、田端観光庁長官、濱野内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、和田内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼観光庁次長、佐々木総務省大臣官房地域力創造審議官、正田環境省自然環境局長、宮田文化庁長官、村田文化庁次長、清野 JNTO 理事長

（有識者・敬称略）

國島芳明（岐阜県高山市長）、中西康博（一般財団法人奈良県ビジターズビューロー専務理事）、橋村和徳（株式会社 VILLAGE INC. 代表取締役）、デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

4. 議事概要

○観光庁より地域（自治体・DMO）と JNTO の役割分担、自治体・DMO の予算等について（資料 1）を説明。主な内容は以下のとおり。

【田端観光庁長官】

- ・地域と JNTO の役割分担等について、観光庁の有識者検討会において昨年 11 月から議論を重ね、
 - －地域は、着地整備の取組を最優先に行う
 - －JNTO は、地域と JNTO の連携においては、地域が作成した動画等のツールを活用し、地域の情報発信を一元的に行う
 - －国は、地域の取組に JNTO が対応できるような環境整備を進める等、一定の方向性を打ち出し、公表した。
- ・都道府県・DMO における事業予算については、公益財団法人日本交通公社が毎年度公表している「旅行年報」によれば、補正予算も含む都道府県の観光担当部署の 2018 年度予算の平均は約 16 億円、総額に換算すると約 760 億円となっている。
- ・また、DMO については、日本版 DMO 候補法人を除く日本版 DMO 全 104 法人中、観光庁が実施した調査に回答のあった 92 法人の事業予算が総額約 282 億円となっている。
- ・本日は、このあと自治体・DMO を代表して國島様、中西様からプレゼンをいただくとともに、グランピングに取り組みされている橋村様からもプレゼンをいただく。

○國島氏より高山市の海外戦略について（資料 2—1）、中西氏より一般財団法人奈良県ビジターズビューローの取り組みについて（資料 2—2）、橋

村氏より国立公園大国「日本」における自然と調和した非日常体験型宿泊「グランピング」による地域観光振興のさらなる促進について（資料2—3）、それぞれ資料に基づきプレゼン。

○意見交換において、有識者より以下のご発言あり。

【デービッド・アトキンソン氏】

- ・各観光地のインフラ整備が進んでいない。Wi-Fi環境、タクシーやバスなどの二次交通、解説案内板、宿泊施設の開発・誘致、食やアクティビティの誘致など、まずは観光地の開発を進めるべき。各観光地には潜在的な魅力があると思うが、開発されないまま海外発信しても無駄である。こうした観点から、観光立国の実現に向けては、DMOなどの改革が最優先事項であると考えている。
- ・以前、博物館・美術館の改革について意見を申し上げたが、先日、東京国立博物館に視察に行ったら、改善された解説案内板を外国人が熱心に読んでおり、素晴らしくなっていた。口コミでも、5つ星の評価が毎日のように上がるようになった。今後、都市型観光のキラークンテンツである国立博物館・美術館を世界水準にすべく、徹底的に整備を進めることが重要。

○質疑応答の後、最後に菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【菅内閣官房長官】

- ・本日御出席の地域の皆様の取組も踏まえて申し上げれば、各地域のDMOや自治体にまず取り組んでいただきたいのは、外国語による看板やアナウンスといった基本的なことを含めたサービスの向上、それに、伝統文化も含めた外国人観光客が楽しめるアクティビティの開発である。
- ・その上で、各地域の情報発信については、各地域と連携しつつ、JNTOが中心となって、それぞれの国の観光客の趣向も踏まえて、効果的に伝わる内容にして、戦略的に行う必要がある。
- ・さらに、国が独自にできることはしっかりとやっていく。本日も指摘のあった国立公園の規制の見直し、さらには、博物館などの公的施設の更なる開放など、国が持っている「キラークンテンツ」を最大限生かせるよう、引き続き各省庁において徹底した検討をお願いしたい。
- ・そして何より重要なことは、この会議で提起された課題は、各大臣、各省庁共通の課題ということである。縦割りに陥ることなく、真の観光立国が実現できるよう、是非、全力で取り組んでいただきたい。

○石井国土交通大臣より閉会

- ・本日の第30回会合はここで閉会とする。なお、本日の議事については要旨を公開することを予定している。

以 上